

新生活運動とは

健康で文化的な生活を営むことの出来る社会を、みんなのでつくる運動です。私達はお互の幸福を目指して
 ○ 不平のない楽しい生活、日の当る心地よい部屋
 丈夫で効ける体

○ 体の健康を保つ食事と衣服 明るく働き易い台所
 助け合いの出来る結婚 重荷にならない祝儀 形式にながれず心をこめたつき合い。

○ 時間や金の上手な切まわし

新生活運動はあなた自身から

新生活運動を本当に理解し一人一人が心からの協力をする日が来なければ、決してよい実は結ばれないのです。只、形の上から取り入れられた新生活は、根のない木の様なものでやがて枯れる時が来るものです。

私達はこのよい実を結ばせたいと、よい土壌を作りよい種子をまいて、よい木を育てる事に苦心いたして居りますが、その為には何としても、あなたの御協力をおねがい致さねばなりません

——新治郡新生活運動促進協議会——

『さかえ』

二月号目次

表紙	梅園	栄小教頭	鷹巣	清
題字	新生活運動とは	栄中PTA会長	塚本	清
扉	新生活運動とは	栄村公民館		
トマト育苗管理に就て	一 公民館図書館規約			一三
中学校から	四 同図書館閲覧規則			一四
小学校から	五 公民館図書目録			一六
青年学級だより	六 人事消息			二〇
鶏の飼いかた	七 バス列車時刻表			二二
消防クラブ結成	一 編輯後記			二二
電話室				二二



トマトの
育苗管理に就て

産業部技師 豊島 実

種子より白く発根し始めたなら、覆い葉を取り去り発芽当初の徒長をしない様にする。此の際一斉に発芽するやうな状態なら宣しいが、不幸にして不斉の様な場合は最初に発芽した少量のものは犠牲にしても、床面の乾燥を防ぎ多数の種子の発芽の齊一を図らねばならない。発芽後は成る可く多く光線を当てると同時に床温と気温との状態に応じて換気を常に図ることが最も大切であります。酷暑夜冷の育苗法でなければならぬ。晝温夜冷と言つても晝は日光をよく当て、夜間は根の部分は温め、床土の上の部分の涼しくするのであります。床温は充分に保たせ、其の床温が床土上の空間に停滞しない様に、夜間に於ても換気するやう硝子障子に段木を挟んで掛置する。それは湿床の状況によつて行なわねばならないので、床温が三十度内外の時に於ては、其の様な処置を講ずるべきであるので

此の晝温夜冷の育苗を行ふのに是れ共、床温は少くも二五、六度の温床を二十日間位は保持出来るやうな温床を構成することが最も必要であります

次に天候との関係であります。晴天の日は換気さえ図つてあれば宜しいのですが、其の換気の装置も一方的でなく、フレームの北側、南側と交互に硝子障子段木を狭め、苗の発育を齊一ならしめる事が必要である。雨天の際はは勿論、雨覆をして雨水の苗床内に入る事を避けなければならぬが、フレームの硝子障子を密閉して置く事のないやうにいたさねばならない。寒さを顧慮して密閉する事は、苗を徒長さすことになるので、五六寸の段木を挟んで換気を徹底的に図り、夜間も掛置を重ねて置く程度にして置く事が肝要である。

次に間引は二―三回行ふが、第一回は子葉の開いた時に、子葉の不整なもの、腰高なものを間引する。

第二回は叢生しているものを除き、一條へ〇本及一〇〇本位にする。灌水は成可く控目にし、床面が余りに乾燥して苗の葉の尖端が、裏を見せる様な状態になつた時は灌水する。灌水の方法は土質極の畝で、條間に

（ 2 ）

注意、必苗にはかゝらないやうにする。播種後二十五六日にて本葉二枚位発生するので、其の時期に第一回の移植を行う。移植の適期を誤る事は、其のトマトの世能の發揮を遅らす事になるので、其の時期を遅しないう様にする事が一番大事な要件である。それは本葉の二枚程度発生したる時期に分果作用が行はれるので、苗に対する環境を極めて良くする事が大事であり、その環境とは第一に温度、第二に一本一本の苗に對する容積、第三に水分等で、其の何れにも缺ける事がやがて、成長後の着果に大きな影響があるので播種二十五六日に第一回の假植が出来るやうに假植床を踏み込み、適量起引上げて新根の発生を早め活着を旺盛ならしめる。床温は少くも二七、八度位にしたい。種土は播種床よりも多少粗なるものでよいが、新しくい土、即ち（河土）の良く乾いたもので三〇%位と、木灰七、八%を混入したるものを、普通の人の掌の中間位（約三寸七分及至四寸位）土入直後の厚さが良い植込の間隔は中四尺のフレイム一條に、十五本が限度である。硝子障子一枚の間隔に八條程度が良い。假植直前に、下種床に灌水して土を蒸さぬ様にする。苗床に

育つたより少しく深く植える。假植後は日覆いをかけ床内を暖かに保つて活着をよくする。活着までは障子をとつて中を見ぬことが必要である。活着後の灌水は少な目にし、暖き日に覆いをとつて日光の直射を受けさせる。換気には晝夜間充分に気をつけ、晝温、夜冷の調節を図ることが心掛ける。

第一回の假植後二十七八日で、第二回の假植を行ふ。假植床は第一回と同様であるが、当時になれば氣温の上昇してくるので、假植直後の温床が二十五六度あれば良い。殖土は前回極重い殖土が必要であるので殖土に新しい土を混入し、厚さは土入直後に五寸位にする。植込の間隔は一畦八寸程度にして、硝子障子一枚六畦程度とし、フレイム一俵一八二本であるので、無理しても二〇の本が限度です。活着迄の手入は第一回と同様です。其の頃は氣温も相當に高くなり、苗の伸長が旺盛になりますので、徒長を防ぐ事が大事です。雨天の際は出来得る限り雨水に掛らない様にする。第二回の假植後二週間経過すれば苗も相當に伸長し花房も懸はれて来ますので、発根も旺盛になり、長根が発生し始めるので、此の長根を発生させると定植

（ 3 ）

に際し、その長根を切る事になるのである。従つて活着も悪くなり、其の傷により病苗の浸入する慮も多くなり、細根の発生も鈍くなるので、長根の発生を防ぐのに根廻しを行ふべきである。方法は、條間を縱横に鋸或鉋ノ様の刃で切斷する。そうすると苗が蒸れ氣味になる。それでも灌水する必要はない。灌水すると却つて苗を軟くし、徒長する事になるので、注意を要する点である。二三日経過すると茶洞の程度少なくなりますので、晴天の日は覆を取り去り、日光の直射光線を当てる。定植前七日乃至十日間位、そうすると苗の活力が増し、定植後の活着を旺盛ならしめることになる。要するに苗の全部に光線をよく当てる事が大事であるので、苗床の圃を適度以上に深くする事を避く可きである。殖土の表面と障子との間が八寸位が適度であらう。植物は葉によつて同化作用が行はれ、その植物全体の栄養が充実せらるゝことは、誰もが承知している事であるが、その同化作用を最も多く営む部分は、トマトの苗に於ては、最も濃綠色になつた部分で、先の方の淡黄色の部分に、人間に例えれば青年期にて、充分な機能は發揮されていないのでありま

すから、光線を全体に當てる様に処置せねばならない。そうすると、最後迄本の子葉がしつかりとしている苗が出来る。子葉が本の儘で、健全に附いている様な苗が出来れば育苗は満点である。以下次号

昭和二十年産米 特別試験 結果表

水 浸 (乾燥後)	木 質	灰 質	炭 水 質	灰 分 合 計
上 境 587 0.5215	1	27	1	614 0.5215
中 境 849 0.7045	4	29	1	882 0.7045
下 境 580 0.361	1	11	1	593 0.361
表 葉 671 0.260	7	15	8	701 0.260
中 葉 646 —	8	37	1	691 —
下 葉 734 —	15	38	1	787 —
全 葉 306 0.215	1	6	1	313 0.215
全 田 941 0.304	1	37	1	978 0.304
苗 床 173 0.147	1	39	1	1515 0.147
土 床 1459 —	49	7	1	1005 —
苗 圃 897 —	10	95	3	1005 —
計 7846 0.387	95	341	13	8295 0.387

決定割合 8282 株 2斗 に対し 13 株 1斗 8 斗 7 合 越 過



学校通信

中学校から

第三学期も去る八日に始業されました。元日は全員登校し米須多数を迎へて、新年祝賀式を挙行致しました。講和條約締結後、最初の新年を迎え、君ヶ代の斉唱にも涙ぐましい感激がございました。

第三学期の努力事項としては

校内の美化を生徒自身の手によつて子供らしい美化をしたい。

耐寒マラソンを実施して、寒さに鍛えたい

進学しない生徒に特別指導を実施する

基礎能力の力を自覚させて、特別の練習をさせる

校内でだけ相互に指導の研究会を開催して、村内出身の高校の先生の指導を受ける

学級PTAを開催して、一年間の生徒の生長を語り合い更に今後の目標に定めて、家庭の協力を強化したい

以上は、本校の今学期の努力目標の中で父兄の皆様

に關係の深いものをあけてみました。何卒御協力をお願いします

一月の行事として、十日役員任命式、十二日冬休み作品展覧会十五日成人の日、十六日数学 國語基礎能力テスト 映画鑑賞(今度購入した映写機による)十七日職員健康診断、二十三日校内研究会(土浦二高 酒井時之助先生、菊地敏夫先生、土浦一高遠藤俊夫先生(久松茂氏令弟)二十四日校内マラソン大会 八千米(大―桜山間往復)

冬休み中の作品及び学習結果のテストを通じて一般に、体み終了の前日にあわて、作つた作品や、テストの前日に学習した泥縄式が感じられます。計画性に欠けています。いつの時代でもコツコツと努力する意志の強さは大切です。父兄は、子供の勉強の内容は詳しく分らなくても、ノートや、作品をみてあけて、良いところを賞めて頂きたい。一寸の時間で中学校生活を話題に取り上げて、話し相手になつて下さい。

二十六日の高校入試打合の結果判明した志願者概数
土浦一高 五一〇 土浦二高 六五六
石岡一高 四二〇 土浦市高 三五〇(市村記)

小学校から

三学期は学年のしめくりと進級の希望に満ちた時間でありますので学校としても充分そうした点を考え計画を立て、指導して参りたいと考えております。殊に御父兄の皆様御協力をお願い致します。

先づ二月の主な学校行事計画を記しますと

六日(水)学級参観日
十五日(金)学習発表会

学芸会が往々、時間の都合や発表結果の出来ばえを考ふる余り出演者は学級でも特殊な限られた児童にとまつて多くの児童は形ばかりステージに立たされると言つた好ましくない傾向を生みますので、今年も全児童出演発表を目標にして学級単位で聞く事に致しました。然も計画 準備 運営等出来るだけ児童の創意と工夫により自主的活動の場にしたいたいと考えております。とうろを開催の際には差繰つて御来観の上御子様のために賞讃の拍手を送つて頂きたいと思ひます。尚新しく一年に入学なさる御子様も学校になれさせる意味から是非御同伴下さる様御願ひ

します

十五日(二十日) 西部班模型飛行機大会

各小学校五、六年選手を集めて九重小学校で催すことになり本校より左の諸君が代表として出場します。

五年 平島嘉治 室町克己 下村清 塚田喜三 藤沢順一 沼尻寛 上方一男 高木久夫 室町整徳
飯島四郎 水野忠一
六年 酒井五兵衛 増山芳男 上方彦 市村浩 本橋英助 鈴木武夫

二十日(水) 学習指導法校内研究会

二十二日頃 新入児童身体検査と新入児父兄会
尚ストリープも全学級設備され、相当寒い日でも温い教室で勉強出来る様になつたので御子さん達は大喜びです(鷹巣記)

ニュース

◇一月廿一日わが栄村は税賦政、産業、土木、保健衛生、教育文化其他一般行政優良村として全国町村会より晴の表彰を受けました。
◇郡主催の消防ポンプ操法競技会に於て土器屋分団は手引カリン操法準優勝を獲得しました



青年学級便り

十二月開講された青年学級は生徒一三名で、隣村からも受講生があります。生徒の希望により、最初の計画を変更して、普通教科の他に毎回珠算を実施して居ります。三十才以上のお母さん方の受講もありました。受講生の態度は予想以上に真剣さが満ちて居ります。

最初の頃喫煙していたものも現在は極く少数になりました。寒い夜間に受講している青年の姿から、私共講師は晝間の疲労も忘れて、生徒の真剣さに応えて居ります。男女の夜間共学は種々懸念されましたが、青年が責任を持つから夜間共学してくれとの希望を入れて共学にしたのですが、その理由は主なる点は晝間和裁、洋裁に通っているからです。

実際男女が、ふざけ合っている姿は見られません。自覚ある青年の集団が青年学級の特色でありますので成人の心配するやうな懸念は米村に於てはないと信じます。若い時代は修養の時期だ、若さに鍛えた力は成

人になつてから發揮できるので、家に居つて、二三時間無慮に過してしまふのだからこの機会に学ばして頂くのは有難度い事だと感謝している青年の声を聞いて非常にうれしく、骨折甲斐を感じて居ります。

又授業が終つてからまで、残つて質問して頂くとき本当に青年に頼母しさを感じます。

青年学級について、近村他郡より青年団の幹部が視察に参りますが、懇談して、その青年達が異口同音に自分達は学びたい、然し村の指導層の理解が乏しくこれを如何に打開したら良いでしょうかという質問が多いのです。又米村は村民に立派な指導者が豊富で羨しいて居ります。これは村が教養が高く、そこから生れた公民館運動の普及によるものだらうと、私の感じを答えておきましたが、本村は余りに環境に恵まれて、空氣の有難さを感じないやうに、温室育ちになり易い点警戒して欲しいと思ひます。明治の回天の事業は青年の方ではありませんか。又逆境に育つた青年が、中心であつたように思ひます。戦後物心両面の復興の必要を強調されている時、青年諸君の奮起を全村あけて助力



鶏の飼ひ方

農業改良普及委員
技師 高野 光雄

一 はしがき

養鶏事業は最も進歩した産業の一つで各地の先進地では終戦の混乱にも拘らず大規模な人工孵化か人工育雛が行れて最近では品種の改良或は産卵能力増進の仕事を着々復興の歩を進められた様であり、食糧事情の好転と相俟つて飼料事情が緩和されて、往年の養鶏全盛時代を再現しようとする気運にあるのは心強い限りである。

一方農村経済事情は一般農産物価の下向きと深刻な金詰りは農村不況が目前に迫つた感があり、戦争中から強制的に余儀なくされた米、麥、甘藷等の單一作への経営内容の充実が必須不可欠の事に思はれる。この際一般農家か何の家でも鶏の二、三十羽、豚又は羊の二、三頭を飼育して、採肥と現金収入の増加を

して欲しいと思ひます。今後の農業経営、又米村の発展に相当多難なるものがあつてよいと思ひます。次代を担う青年諸君に期待すること洵に大きいと思ひます。この青年学級の目標も、こゝにあります。この学級の運営も始めてなので、生徒諸君に不都合をかけていると思ひますが、お互に打開してゆきたいと思ひます。只今の機は女子の晝間の洋裁、調理の出席と男子の晝間の授業の出席状況が悪いのが悩みの種子です、これをお互に打開していきたいと思ひます。

吉瀬は遠隔地でありますので、分教場式に経営して居ります。講師の面も更に村内より多数求めていくべきだと考えます。青年にお願いする事は、恵まれた機会と環境を一〇〇％に利用して頂きたいと思ひます。

村民各位には青年を奨励して頂いて出席率を高め、縁組の信用にまで高めて頂きたいと思ひます。全村一丸となつて、村を担う有為な青年育成のための努力していくべきだと思ひます。何事、やつてみてからの批判が大切で、くわすぎらいは禁物だと思ひます。立派な実のある青年学級育成を村の一大目標に願ひします。

(市村記)

一 函ることが経営改善の早道である様に見えるのは、誰の考へではないかと思はれる

從來とても多くの農家は鶏を何羽か飼育して、其れも放飼ひで家計の幾分かを助けにして居つたのであらうが、そのやり方を考へると、まずい所が多くもう少し改善したら一層経済にも貢献し、養鶏の趣味も出て来て不況対策の重要な要素ともなり得るだらうと思ふ事があるので以下主として副業養鶏を対象として養鶏の常識とでも言うべきことを記してみよう。

二 品種の選び方

一般農家で有利な小規模養鶏を営むには、何んな鶏がよいかということがよくきかれる事であるが、これには「卵をよく産むこと」、「肉用としてつぶしの利く事」、「就巢性が強くて抱卵が上手であること」の三拍子揃つたものが最も適すると言ふ事に帰着する様である。勿論種類として強健であり、飼料の利用性が強く粗放な飼育にも耐へるものであることは言ふ違ひないことである。

鶏の種類として就巢性を持つか何うかといふことは、農家の自給養鶏には大変な影響を与へるものである。

あるということになる。

むづ人の嗜好にもよることであるから、白レクがとうしても好きで捨てられない場合は白レクの外に巢鶏として適当なものを何羽か飼ふと言ふのも一策であらう。要は自給養鶏の眼目は雌の自給自足までやつて始めて好結果を得るといふことが第一條件であることを忘れてはならない。

鶏の就巢性は遺伝的なもので、二組以上の就巢性因子が結合すること、外気温度が攝氏二十四度以上になつた時始めて現はれるもの、由であるが、品種によつて就巢性の強弱があり又全くこれを缺くものがある。現在日本で飼はれる優良品種の内では、名古屋種最も、就巢性強く軍冠コードアイランド、レッド種は中庸、横班フリマスロツク種は弱く、軍冠シクホーン種には殆んどこれを缺いて居る。

即ち名古屋種では大部分が巢に就き、コード種では六、七割、横班ロツクでは四割位しか巢につかず白レクでは殆んど巢につかないのである。

それで農家が巢鶏として在米の雑種鶏で満足する場合は別として卵もよく産み、巢にもよく就くという鶏

例えば、白レクとか、横班ロツクの様な産卵一方で就巢性が全く無いか、或は非常に弱い種類ばかり飼つて居ると、その更新には人工育雛で次代の雛を育てるか巢鶏を別に買つて来て抱卵させるか、或は更新用として、中雛を求めめるかの何れかの手段による必要を生じて、これ等の手段は農家に取つて何れも煩はしいことであり、併せて現金支出が嵩むために免角鶏の更新が遅れ勝ちとなり、従つて鶏は無用に年令ばかり老へて産卵力は減り、本来の副業養鶏の目的に一向副はぬという様な結果となつて居ると思ふ。一方余り良心的でない中買人は農家の無智につけ込んで、甲の農家から淘治した雛を安く買ひ求めてこれを口上一つで高く売りつけ、或はその家の老鶏を種に利鞘かせぎの交換をす

ると言ふ具合で、こんな事を順操り廻転させるので泣くのは純朴なる農家はかりで産卵成績は一向に揚らぬと言ふ結果になる。

そこでこれ等の農家は自分に人工育雛の覚えがあり、何時でも雛の購入資金に事缺かぬなら免も再然らざる限り、就巢性が強く産卵力が高く肉用としても適するといふ種類を選んで飼育するのが最も安全且有利である

三 一代雑種の利用

今より二十数年前に畜産試験場で行つた鶏の一代雑種の試験では白レクと兼用種へ横班ロツク、コード及名古屋」との交雑に於て白レクを雄として、兼用種を雌とした方が、其の逆の交配即ち白レクを雌としたよりも何れの場合でも産卵歩合が高いといふ結果を示した。このため我が國では鶏の一代雑種を作出する場合、白レクを雄、兼用種を雌とした場合を正交配、其の反対を逆交配と呼び、正交配は逆交配よりも成績優良なりとして逆交配による雑種を毛嫌したことは事実である。ところが、最近鶏の雌雄鑑別の創始者増井博士が行はれた研究によれば右に述べた正交配、逆交配何れも産卵成績に大差なく、寧ろ逆交配の方が即ち白レクの雌を利用するのが多数用い得るから数の少ない兼用種の雌を用いる正交配よりも一代雑種の作出及び普及に遙かに好都合であるといふことを述べている。

が欲しいならば、名古屋種又はコード種を雄と白レクを雌とする。三河種にも中庸程度の就巢性がある。横班ロツクには殆んど就巢性を現はさぬ場合があるから注意を要する。

この様に正交配と逆交配との間に能力上差がなくなつて抱卵の二十一日目の孵化日には大体三十五、六羽の雛が孵化する。此の内横班型のへ此の組合せでの雛は横班型のものは雄で黒色雛は雌である。雄雛を捨てれば後には黒色の雛十二、三羽及ロード種の純粋雛約十羽位残るからこの雛を全部一羽が二羽の雛に預けて母鶏育てをする。他の雛は籠座法に依り其の後の雛鶏と一斉に更に一回抱卵せしめると大体期間に三、四十羽の雛を得る事が出来るため、農家の自給養鶏殊に一代雑種の利用上甚だ都合がよいと思ふ。

尚この組合せではロードは自給的に後継者が出来るから其の更新も余り急がなくてよいが、横班ロツク雛は少くとも隔年に一回は他より別のものを購入して更新する必要がある。

二の例として白シク雄二羽、名古屋雌十羽 又はロード雌十羽位の組合せの原種雛も良いと思ふ。

申すまでもなく一代雑種の利用は飽迄その一代だけに止めるべきで、二代雑種になると形質の分離を起し能力を劣変するのが普通であるから、一代雑種利用に於ても繁殖期には鶏舎を二分して雑種鶏と原種鶏とは最重区分する様にしなければならない。(以下次号)

右の場合假に雛鶏三羽とすれば抱卵数合計四十五個



消防クラブ結成

婦人会

昭和廿六年十一月二十九日、栄村婦人消防クラブが結成された。総クラブ員四百九十七名、機構役員団員の組織は次の通りです。

- 栄村婦人消防クラブ長 比岡 たま
 - 全副長 小林やす 永田歌子 酒井ゆら
 - 上境支部クラブ長 酒井てい クラブ員 五十二名
 - 中根支部クラブ長 飯泉つる クラブ員 八十四名
 - 土器屋支部クラブ長 米柄とく クラブ員 六十五名
 - 松塚支部クラブ長 久保田せい クラブ員 四十八名
 - 大支部クラブ長 酒井たけ クラブ員 五十六名
 - 横町支部クラブ長 沼尻ひで クラブ員 二十五名
 - 金田支部クラブ長 比岡たま クラブ員 七十名
 - 古米支部クラブ長 久松さよ クラブ員 四十八名
 - 吉瀬支部クラブ長 根本政子 クラブ員 四十九名
- 一 婦人が消防の科学的智識を持つことと、防火思想の普及こそ、火難から村を守るための一大要素です。

貴明皇后記念救済事業募金

貴明皇陛下が夙に救済におつくしにられた御遺徳を記念して、瀧の絶滅をはかる目的で、國民運動を展開し資金を募集することになりましたが、その募金の目的は次の様な事業を行ふためです。

- 一、瀧未感染児童の保育、二、未感染子弟の職業指導
 - 三、未感染家族の養老 四、患者及家族に対し法外援助
 - 五、患者の信仰生活に対する指導 六、患者の慰安
 - 七、救済思想の普及 八、其他救済のため必要な事業
- 栄村の皆様から寄せられた募金の成績は次の通りです
- 上境九〇五円 中根一、一〇円 土器屋一〇七〇円
 - 大七二〇円 松塚五一〇円 横町三二〇円
 - 金田一六〇〇円 古米五六〇円 吉瀬六一〇円
 - 総計 七四〇五円

ヒリッピン親善の贈物

日比親善の為、当婦人会から去る十一月六日県庁民生部世話課を通じ、「日比使節人形 五箇」を発送いたしました。今後引続き送る予定であります。

電話室

村から家庭へ
家庭から村へ

- ◇ 十二月二十八日 十六三リ映写機の試写会を行ふ
- ◇ 一月八日、公民館産業部役員会を開き、春果菜育苗温床作製指導及麥作畜力利用指導、産業に関する部落座談会実施等に関する事業計畫を協議した。
- ◇ 一月十三日、県主催成人式に、本村からは、小林守、酒井澄子両君が優良青年として知事並に教育長の栄ある表彰を受けた。
- ◇ 一月十五日、成人の日をトして、本年度該当者、男子三十八名女子四十三名計八十一名の晴れの成人式及成年祭が挙行された。午前十時より式が開始され成年證書並に記念品（バツチ及菓子）が贈呈された。終つて午前十一時より社会福祉協会事務局長田中雄一先生の講演会を催した。午後一時より引続き映画会及びみどり楽団の演奏会あり盛會裡に意義ある式を終る
- ◇ 一月廿一日より廿四日まで、公民館協同組合共催のもとに、三班に別れ部落産業座談会を催した。
- ◇ 一月九日、農業委員会を開き総合開発及地区農業

改良委員代表者の選任を行ひ、藤沢並に久松 飯島の各委員決定す。

- ◇ 一月十日、選挙管理委員会を開き、検査審査委員候補者の抽籤会を行ひ、平島とゆ、大久保さくの、沼尻まつい三氏が選ばれた。
- ◇ 一月十日、栄村行政事務調査委員会第一回会合を開き、隣接町村視察の日の打合を行つた。
- ◇ 一月十四日、農業委員会を開き國有地買受資格審査その他につき審議す。
- ◇ 栄村行政事務調査委員会に於ては、一月二十一日九重村、栗原村、全廿二日藤沢村、斗利出村の各役場の行政事務を視察調査した。
- ◇ 一月三十一日より三日間、映画「新しい村」の補充撮影のため果弘報報映画班米村す。
- ◇ 二月一日、婦人会主催の新年会が公民館で開れた
- ◇ 二月二日、農業協同組合主催の第五回みのり定期貯金の抽籤会が開かれ、同時に各種品評会賞状授与式が行はれた。引続き二時から芸能大会が催され、八百三十万県下第一位の誇りに想応しい所の盛況を極めた。当籤番号は左記の通りである。

公民館図書館規約

- 第一條 本図書館は栄村公民館図書館と稱する
- 第二條 本図書館は栄村公民館に依つて運営される。
- 第三條 本図書館は利用者に教養慰安を旨と旦研究調査に寄与するを以つてその使命とする。
- 第四條 本図書館は原則として栄村々民によつて使用せられる。但し公民館長又は図書館長の認可を受けたる者は本図書館の利用を許可する
- 第五條 本図書館には館長、副館長、司書を置く
- 第六條 本図書館の運営機構、選任及人数、夫々の任務は次の如くにする。

機構



選任及人数

図書館長——一名
副館長——一名

- 第一等（五百円）下二桁一八五 各組一本
- 第二等（五百円）下二桁二四二 五六六 各組二本
- 第三等（三百円）下二桁八〇〇 各組十本
- 第四等（百円）下二桁一〇三〇 三五 各組三十本
- 第五等（四十八円）残り全部
- ◇ 二月六日 公民館産業部並に農協主催にて養蚕経営総会を開き、養蚕業振興について協議した。
- ◇ 十二月末日までに米村した視察団次の如し
十月廿四日東茨城郡西郷村（四十名）三十日又慈郡世善村（八名）真壁郡教職員代表（四名）十二月一日千葉県湖北村（二名）三日鹿島郡高松村（八名）四日東茨城郡鯉洲学園（助教授二名）十日稲敷郡君原村（四十名）北相馬郡相馬町PTA（四十五名）十一日（真壁郡紫尾村議長）十四日結城郡絹川村及上山川村（百十七名）十五日北相馬郡君原村（十名）十六日那珂郡額田村（五十名）十七日北相馬郡北文向村（百三十名）二十日那珂郡大宮町（四十五名）稲敷郡岡田村婦人代表二名 廿一日結城郡石下町（三十五名）廿三日北相馬郡高須村（三十五名）廿五日北相馬郡相馬町（四十名）廿一日筑波郡町村会（五十名）

- 司書 三名
- 評議会員 五十九名（二、三人の婦人を含む。
村当局者 村内有志）
- 任務
- 図書館長

（イ）図書館評議會を司会してその書記的な事務を担当する

（ロ）圖書の選採 購入 受入 分類 目録 貸出一切を指導する。

（ハ）図書館会計の決算書 並びに貸出に関する統計報告を作成する。

（ニ）館内に於いて圖書の指導に当る外学校との連絡又一般に對しての読書の奨励を期する上から館外に於ても講演 その他の方法によりその目的達成に努める。

司書：参考係 児童係 註文係 目録係 蔵書係
開架係 貸出係 庶務会計係等の事務を分担する

図書館評議會

（イ）図書館の財政上管理と経営の劃策とを実施する。
（ロ）館長及び館員の任免 支拂命令、圖書の選採等そ

の他諸務の監督 年度に於ける予算編成監督官庁へ提出する報告書作成等の考査をなす。但し前記は公民館長の認可を経て効力を発生する。

第七條 本図書館の閲覧は館内 館外共に認められるが館員の指示及び閲覧規約に従うことを必要とする。

第八條 その他図書館に関する規約及び運営施行口図書館評議會において決定せられ、公民館長の許可を得てその効力を発生するものとする。

公民館図書館閲覧規則

第一條 一般規約

第一項 本図書館を利用するに当つては館員の指示又は本館に關係する規約を解しその実行に努めて下さい。

第二項 本図書館は開館（ ）時（ ）分 閉館（ ）時（ ）分とする。但し（ ）曜日は休館日とする。

第三項 入館に當つては次の項を守つて下さい
（イ）手を洗ひましょう。

（四）必要以上に高い声 雑音を立てないこと
（五）下駄 靴等は歩夾をさける様整理して置いて下さい。

第四項 閲覧室に入りたる時は入館者記録簿に自己の部落名 氏名、年令等所定の事項を気軽な書にて下さい。

第五項 借用図書は一人一冊で（館内）のレットルのある図書は外部へ持ち出しを禁じてあります。

第六項 蔵書室へ入ることは（開）架式閲覧ですから許可（しません）

図書とその扱い方について次のことを知つて実行して下さい。

（イ）蔵書の棚と排列 分類法
（ロ）読書の時には

- 。指をなみずらに頁を開く
- 。表紙を巻きかへさない
- 。書込 折目をつけない

。いつでも気持がよいように注意して下さい。

第七項 目録カードを見れば本館の蔵書が理解できます。

第八項 希望の図書がありましたならば図書借用に關する館内或は館外の規約を守つて下さい

第九項 読書道徳 読書衛生には協力的な態度を示して下さい

第十項 その他わからないところがあつたら司書まで質問して下さい

第二條

第一項 圖書の最後の台紙のフックポケットの中に借用カードがありますからこれに氏名、借用 返却年月日を記入して司書に提出して下さい。書き方のわからないところはきいて下さい。

第二項 読み終つて返本する時には圖書を必らず司書に渡し認印を受けて下さい。

第三項 新聞 ニュース雑誌は自由閲覧とするが單行本は一冊づつならば何冊でも借用カードに書いて閲覧できる

第四項 館外へ の借用の必要ありたる時はその旨を司書に告げ返本日を変更記入する。

第五項 他人への圖書の又貸し或は他人の氏名をかいてカードの記入すること及びかく禁止します。

第三條 館外閲覧

- 第一項 第一項(館内)のレツテルのある本は外部への貸出を行わない。但し公民館長及図書館長の許可があればその限りでない。
- 第二項 台紙のフックポケットにある借用カードに所定の事項を記入して司書に提出する。
- 第三項 借用期間は借用日を含めて三日間とする。返本が理由なく遅れたと認める時は一日に付(一)円を徴収する。
- 第四項 借用中図書を紛失したる時は原価或は現物で納入する。大破したる時はその旨を館長に告げ館長の判断にて処理する。
- 第五項 他人への圖書の又貸し或は他人の氏名をかりてカードの記入をすることはかく禁止する。
- 第四條 規約を度々破りたる者は入館を禁止することがある。
- 第五條 その他規約改正は評議会に於いて決定し公民館長の許可を得て効を発生する。

公民館図書館図書目録(其一)

文学の部

書名	著者	書名	著者
野の太陽	平川虎臣	北方處女地	丸山義二
英雄待望論	鶴見祐助	眞田三代記	今村次郎
世界平和の敵	松岡哲史	いたづらゆの	平野愛児
は誰だ		美人自叙伝	佐々木 邦
銀伴作捕物帳	村田吉邦	春に遭ふ頃	佐々木津三
臣民の道精辭	高山林太郎	大衆小説傑作集	新日本新聞社
愛の波濤	諏訪 三郎	冷い戦争	朝日外報部
あゝ玉杯に花	佐藤 紅敏	母(上巻)	鶴見 祐助
うけて		漫談レウィウ	徳川 夢声
弥生さん	武田麟太郎	砂金	西條 八十
美しき旅路	島津 郷輔	佐久の草笛	佐藤 春夫
偉人の逸話	新居 芳男	室生犀屋集	室生犀屋集
獄中獄外	児玉善士夫	今宵妻となりぬ	蒲田やよひ
決斗	黒岩 淚香	女の環境	武田麟太郎
		高野	小山いと子

書名	著者	書名	著者	書名	著者	書名	著者
うき草	長谷川辰之助	日本を覆滅せ	新井 勲	塚原卜伝	玉野房次郎	夕月乙女	西條八十
世間雑話	野間清治	せた四日間		木刀打ち	比岡 鉄兵	湖底の魔城	南沢十七
生活の設計	南川 潤	土曜夫人	織田作之助	この太陽	牧 逸馬	密林の王者	南 洋一郎
文学と青年	舟橋 聖一	浪華女俠伝	野間 清治	おゆかけ	森 三千代	学校の花	川端 康成
大 学	田村養次郎	初恋	武者小路実篤	故忘れ得べき	高見 順	大久保彦左衛門	米山勉之助
懺悔紀	芥沢光治郎	春婦伝	田村養次郎	犬のたまご	字井 無愁	維新十傑伝	金沢 庄造
天一坊	松 鯉 演	評註名將言行	菊池 寛	現代長篇小説	里見 淳	駒島日記	矢田津世子
死	廣瀬 哲士	録(中)		全集		施風二十年	森 正蔵
青年の言葉	夏目 寅義	音楽と文化	河上徹太郎	クリム童話	興文堂編輯部	ヘリフォード	有川 治助
神のむすめ	加藤 武雄	鴉	関口 次郎	懺悔記	芥沢光治郎	日本偉人伝	菊池 寛
フランス敗戦	尾崎 達男	志士の精神	和田健甬	大密林の謎	松浦泉三郎	出家とその弟子	倉田 百三
の真相		結婚の愛と眞実	入江光枝子	あらしの囁	加藤 武雄	ルパン全集	保篠 竜緒
南極と北極	白瀬 蘆	永遠の良人	吉屋 信子	愛の夢	谷村まち子	倉橋幸蔵	村上 信
夫ドストエー	羽生 操	生活のなかの	古谷 綱武	家なき子	久米 元一	伊達事変	白井 喬二
フスキイの回想		勉強		白鷺鷺	吉屋 信子	源氏物語研究	島津久基
大陸ロマンス	小林 諦亮	ベーフ、ルース	朝日新聞社	水の王者	富田 邦彦	第二の接吻	菊池 寛
神の火を盗ん	山田 順子	物語		愛の腫	大庭 綾子	彼岸過迄	夏目 漱石
だ女		石川啄木	小沢 恒一	浅草の灯	浜本 浩	犯罪発明者	甲賀 三郎
貪しき人々	中村 白葉	戦争夢物語	佐藤 鋼次郎	小鳩の夢	西田 稔	蠅男	海野 十三

書名	著者	書名	著者	書名	著者	書名	著者
阿部一族	森 鳴外	生きる道	小西増太郎	戦争責任覚え書	長 文連	スガリーの朝	石森延男
無頼三代	子母沢寛	南国抄	丹羽文雄	開拓者	松本忠子	人妻構	小島政二郎
迷路	有島武郎	八点鐘	保藤竜雄	女性新道	相馬 基	土	長塚 節
思出の記(上)	徳富健次郎	水島の子	牧 逸馬	青春讃歌	日高麟三	壮年	林 房雄
詰将棋五十番	塚田 正夫	智恵の青草	石川達三	我等の原大臣	富岡福寿郎	現代日本小説	尾崎 紅葉
蘆花傑作集	徳富 蘆花	二宮尊徳の新	田中 喜	松下村塾	今野 賢三	大系	望月 芳郎
赤穂浪士	大佛次郎	研究	九條 武子	講談全集	吉沢孔三郎	霧の中の少年	笹川 種郎
與村五百子言	三井那太郎	無愛筆	阿部 知三	源氏物語梗概	長 連恒	和歌から見た	笹川 種郎
支那事変戦跡	陸軍画報部	旅人	賀川 豊彦	栗田定之丞	永見七郎	日本女性	萩原朔太郎
の栗	陸軍画報部	死線を越えて	阿部 知三	青春舗道	富田 邦彦	青猫	田山 花袋
獨逸國民に告ぐ	大津 康	太陽を射るもの	賀川 豊彦	満子の場合	妻木 新平	現代日本文学	藤田 新昌
大菩薩峠	中里 介山	明治天皇御製	千葉 胤明	英米生活の思	秩父宮殿下	全集	モロパッサン
道草	夏目漱石	謹話	花山 信勝	い出	秩父宮殿下	モロパッサン	変愛小説集
九三年	早坂 二郎	平和の発見	山田 浩	野人ソロー	堀井 梁歩	多感	舟橋 聖一
青年時代	国木田独步	潮村少年記	田村泰次郎	人生の恋	須藤 鐘一	現代日本文学	芥川竜之介
虞美人草	夏目漱石	学生的情熱	田村泰次郎	砲弾を落りて	川田 功	全集	草村松雄
春の水	原久一郎	よき文学の爲に	丸山 義二	村長日記	岩倉 政治	全集	山田 史郎
貝殻一平	吉川 英治	米二十石	浮田 和民	徒黨の地図	川崎 竹一	全集	
		人格と品位	浮田 和民	紅雀	吉屋 信子	全集	

書名	著者	書名	著者	書名	著者	書名	著者
青葉の落	田部 重治	あ、玉杯に花	佐藤 紅緑	怪異彌漫船	高垣 岬	男の肌	子母沢 寛
葉の旅	田部 重治	うけて	佐藤 紅緑	文学の絶体境	松浦 一	幕末大調練	邦枝 完二
坂口安吾選集	坂口 安吾	蕨喰う虫	谷崎潤一郎	講談傑作選	小林 篤里	眞珠貝	円地 文子
わが血わが土	加藤 武雄	世界戯曲全集	小川 菊松	花咲く丘	佐藤 紅緑	地上	小池 二三
明治、大正文	岡本 敬二	ケーテ全集	相良 守峯	テス	宮島新三郎	世界名作重話集	白木 茂
字全集	岡本 敬二	娘の縁談	柳家金語楼	月よりの使者	久米 正雄	快慄猫頭巾	赤坂 じろう
幸福への道	小島増太郎	世界戯曲全集	柳家金語楼	クオレ物語	池田 宣政	無敵二刀流	前沢 未弥
文学鑑賞読本	宮島新三郎	柳生月影抄	吉川 英治	向上的道	佐藤 義亮	猿飛佐助	堀 春子
(春夏秋冬)	有島武郎	家庭日記	吉屋 信子	母への花束	水島あやめ	花園の乙女	北川 千代
江戸川乱歩	江戸川乱歩	正文章軌範新註	中村徳五郎	子守唄	永田 寛定	小島の家	北川 千代
少年模範文	八波 則吉	作詩法講話	森 泰二郎	謀將武田信玄	小島 健三	神祕の宝庫	秋田 貞子
いつみ	高瀬 兼介	吳子講義	西村 豊	金銀堂	野村 胡堂	キュリイ夫人	出井 清治
現代農村の傑	天谷虎之助	向上的道	佐藤 義亮	随想録	尾崎 行雄	物語	出井 清治
出人物	天谷虎之助	現代俳句	松本 大かし	新道	菊池 寛	デカメロン	ボツカチヨ
下位春吉氏熱	淵田 忠良	人生論	上田 杏村	脂粉追放	竹田 敏彦	スカラムツ	小田 律
血熱涙の大演説	淵田 忠良	青年の書	室伏 高信	現代日本文学	山本 三生	鼠小僧治郎吉	野間 清治
世間雑話	野間 清治	一般文化講座	東京放送局	全集	菊池 寛	白鳥の歌	佐伯 光子
良寛の歌	須佐 晋長	戦跡の葉	陸軍画報社	受難草	菊池 寛	西遊記	中島 茂一
修養全集	野間 清治	食道集	村井 寛	千年守男	久呂田正三	眞実一路	山本 有三

書名 著者
 現代日本文学 武者小路実
 全集 篤 青年戯曲集 社会連合会
 偉人ペスタロ 池田宣政 心の窓から
 ツテ 妻の一生 大浜 英子
 文学的的人生論 河上徹太郎 あく妻ろん 戸川行男
 世界童話物語 近藤 国一 現代日本文学 前田河三郎
 野村望東尼 杉浦 伊作 全集 市村壮雄一
 アリス物語 芥川竜之介 蕨川捨吉 久石田正三
 勝敗 武田 祐吉 南海の幽鬼 抱月宙外青
 万葉代匠記 菊池 寛 風雲集 青園共編
 近代の恋愛観 厨川 白村 鷗見 祐助
 木下藤吉郎 小林東次郎 母 大久保月夜
 陸軍落下傘部隊 野中俊雄 歌集 夢笛 生田 蝶介
 愛の讃美 三宅やす子 歌集 夢笛 生田 蝶介
 江戸川乱歩全集 江戸川乱歩
 わたらのあと 鳥 勘左
 隠密の兄弟 眞木 十七
 蘇生 豊島 志雄 著者
 西遊記 石井 蓉年 女子文の林 梶山 彬先生
 以下次号

出生の部

出生月日	氏名	大字	父	母	続柄
二、一七	根本登喜枝	吉瀬	登	清子	長女
二、二八	酒井 勉	上境	亮	セツ	二男
二、二二	高橋光子	金田	三治	マス	三女
二、二七	井坂利子	中根	五郎	英子	二女
二、一五	久保田弘子	松塚	仁	ヤシ	長女
二、一八	塚本初枝	金田	勝利	恵子	〃
二、一三	沼尻孝子	中根	道雄	あさ	〃
二、二六	山崎 栄	非本籍	政吉	さよ	四男
一、一七	豊島 滋	古米	義次	敏子	長男
一、二二	本橋百代	中根	正	美智子	長女
一、一	市村元則	金田	延好	すみい	長男
一、二二	根本 恩	吉瀬	好男	清子	四女
一、二二	岩瀬あけみ	金田	茂次郎	くに	長女
一、一	平島久好	中根	三四郎	好子	長男

人事消息(十二月一月分) 戸籍係

芸術の部

死亡の部

生年月日	氏名	大字	父	母	続柄
一、一五	酒井 康史	上境	衛	利子	長男
一、一七	沼尻 美直	松塚	哲郎	ヨ子	三男
一、一五	久保田利子	〃	茂夫	まつ	二女
一、一〇	室町 良子	中根	孝	さげ子	長女
一、一八	豊島 安夫	古米	茂	ちい	二男
一、一七	島崎 和子	松塚	嘉一	とゆ	二女
一、二〇	五頭 和美	吉瀬	利道	常子	二女
一、二三	飯野 良久	非本籍	一男	あい	長男
一、二七	上野 守男	上境	勝夫	みち子	〃
一、二五	牧野 悦子	非本籍	行永	房子	長女

死亡の部

死年月日	氏名	年令	大字	筆頭者との続柄
一〇、三〇	根本 よし	四一	吉瀬	亡和六の母
二、三	酒井 つる	六七	上境	〃
二、二二	高橋 光子	零	金田	三治の三女
二、三一	室町 むる	七九	中根	竜一郎の母
二、三六	飯塚 太三	八一	松塚	眞三の父
一、八	沼尻 わか	五三	金田	清一郎の妻
一、一三	上方 信一	七四	吉瀬	本人

転籍の部

婚姻の部

大字	氏名	配偶者氏名	備考
上境	酒井 又工	横田 勇	丸重村大字大角豆へ
中根	平島 三四郎	青山 好子	斗利出村藤沢新田より
〃	今井 康敬	中沢 よね	夫大穂村大曾根より 妻廣波郡十和村押砂より
金田	沼尻 光	小島 光枝	北相馬郡文村下曾根へ

養子縁組の部

大字	養子氏名	実父	実母	養父	養母	備考
金田	塚田 照子	貞次	かね	大久保 隆一	いく	栗原より

養子縁組の部

中根	平島 昌郎	覚之助	上志	とし
----	-------	-----	----	----

転籍の部

大字	氏名	転籍の場所	備考
横町	沼尻 富美子	横町一三番地へ	夫と共に
〃	佐久間 三郎	土浦市一〇三番地へ	三郎外三名
中根	本橋 盛	土浦市一〇五番地へ	全家族

お知らせ 戸籍に開する手数料改正表
 戸籍謄本 金参拾円 寄留に関する謄本金廿五円
 同 抄本 金参拾円 同 抄本 同
 同 同 同 同 同 同
 同 同 同 同 同 同